

城南版 「実験ノートの書き方」

実験ノートの書き方に統一ルールはありません。しかし、実験ノートは確かに実験をしたという物的証拠です。失敗や計算間違いまで含めてすべて記録し、他の人が見ても研究の経過がわかるようにしておくことが大切です。後から改ざんしたと疑われない記録のとり方にも心がけて下さい。とは言え高校生の実験ノートです。研究日誌およびメモのつもりで使って下さい。きれいなノートにする必要もありません。

■全体的な確認事項

- ・日付は西暦とする。(2022年5月13日、2022年6月15日など)
- ・実験ノートの記録は、研究・実験等の作業を行った当日に行う。
- ・実験開始・終了の時刻を記録する。
- ・記録者の署名・確認者(教員)の署名と署名日の記入はページごとに行う。
- ・単なる数字の記録にならないよう単位を記す。
- ・筆記具はペンやボールペンを使用し、訂正は二重線で行う。
- ・後日加筆できないようにページの最後には「以下空白」と記入する。
- ・グループでの実験ノートのスタイルを確立する。

では、実際の書き方を見てみましょう。

■実験ノート使用開始時

- ・表紙に研究タイトル・研究ノート番号・氏名(全員)・所属名(学校名)・使用期間(開始日)を記入する。
- ・各ページの右上または左上にページ番号を記入する。

■実験前

- ・日付、気象条件、プロジェクト名(実験タイトルなど)を書く。
- ・実験ノートの目次(Contents)を書く。
- ・共同実験者を書く。(原則2人以上で実験する)
- ・実験に使用する装置、試料・材料を記入する。
- ・実験の手順を記入する。(図なども活用する)
- ・結果を記入する表などつくる。
- ・参考資料のコピーを貼っておく。(定規は使用しない)
- ・続きの実験の場合や、他のページとの関連がある場合は、わかるように記しておく。
- ・予測される結果を書いておく。

■実験中

- ・その場ですぐに書く。(実験中は常にメモを取り続けるつもりで臨む)

